

第1編

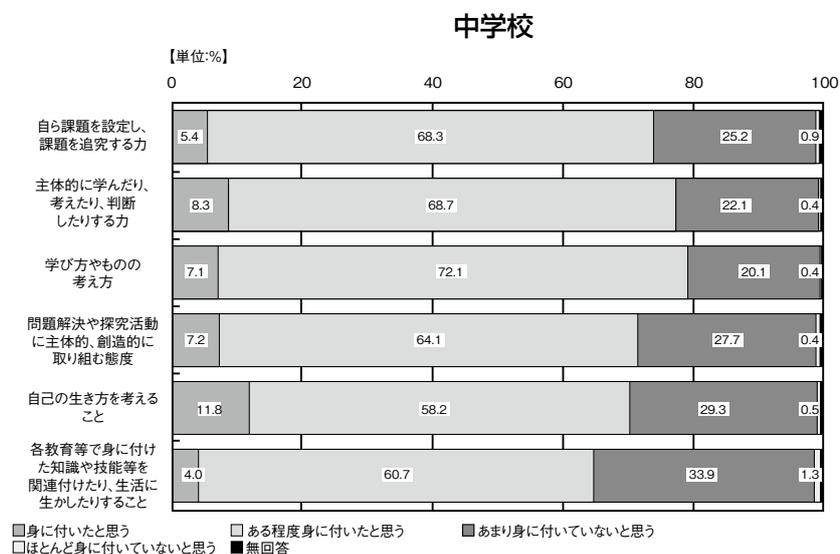
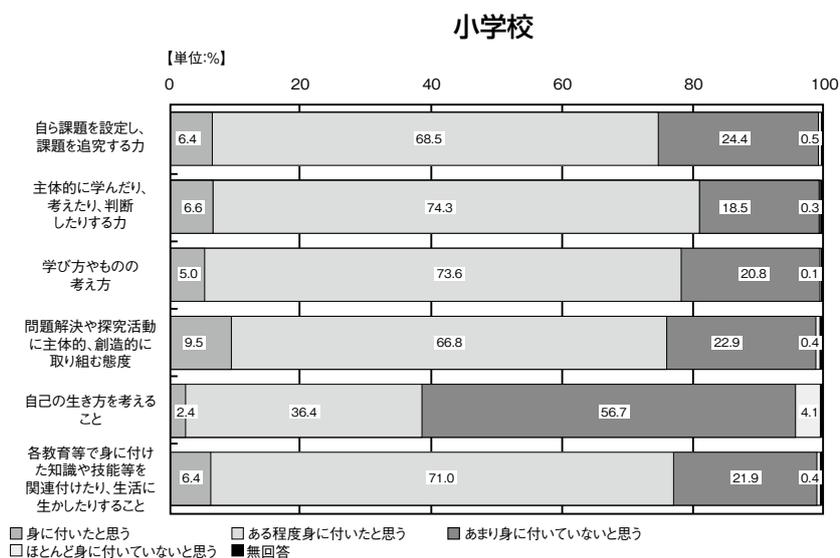
今、求められる力の
向上を目指して



第1章

課題発見・解決能力、論理的思考力、コミュニケーション能力等向上を目指す“総合”の戦略的展開

○ 平成17年に国立教育政策研究所が実施した『総合的な学習の時間実施状況調査』では、全国の小学校（739校）・中学校（552校）を対象に、「総合的な学習の時間の実施によって生徒たちにどのような力や態度等が身に付いたか」について、学習指導要領に示されている総合的な学習の時間のねらいである「自ら課題を設定し、課題を追究する力」、「主体的に学んだり、考えたり、判断したりする力」、「学び方やものの考え方」などを選択肢として設け調査しているが、小学校については、「自己の生き方を考えること」以外の項目について、「身に付いた」「ある程度身に付いた」の両者を合わせると、70%以上の肯定率となっている。同様に、中学校については、すべての項目について、60%以上の肯定率となっているなど、一定程度の力が身に付いていると評価していることが分かる。

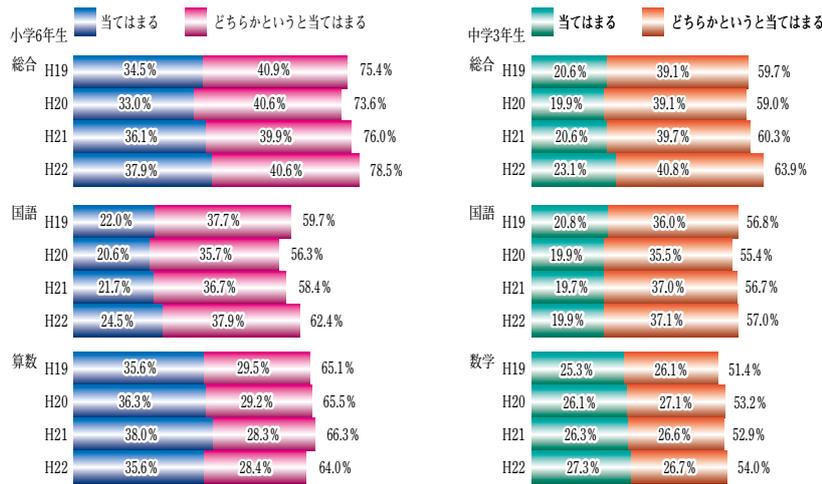


○ また、「はじめに」で述べた生徒・教師・地域の変容に見られるように、これまでの総合的な学習の時間で、大きな成果を上げている学校がある一方、残念ながら、当初の趣旨・理念が必ずしも十分に達成されていない状況も見られることが指摘されている。

○ 例えば、平成19年から実施している小学6年生、中学3年生を対象とした『全国学力・学習状況調査』における質問紙調査では、「総合的な学習の時間の勉強が好き」という項目について、「当てはまる」又は「どちらかという当てはまる」とする割合は、小学6年生：7.5割程度、中学3年生：6割程度であるなど、国語や算数・数学よりも、好きな割合は多いにもかかわらず、「総合的な学習の時間の授業で学習したことが、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思うか」については、小学6年生：8割程度、中学3年生：6割程度であるなど、国語や算数・数学よりも、有用感・実用志向的な動機付けといったものは、低いことが明らかになっている。

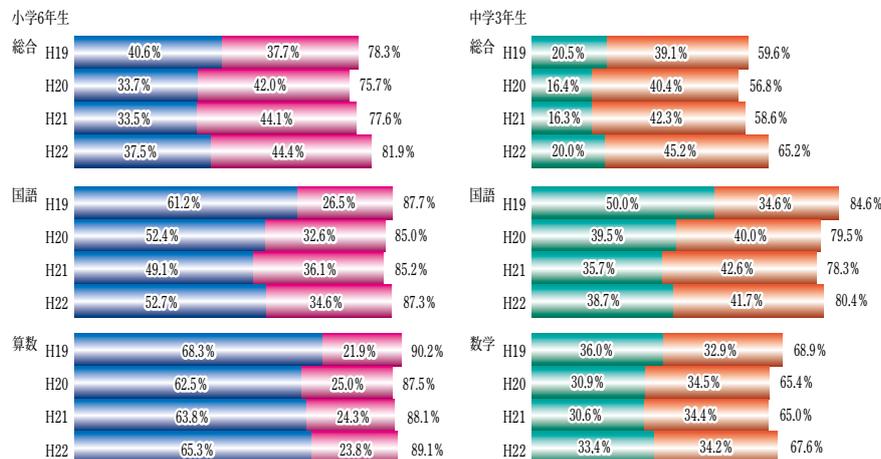
こうした小・中学校の総合的な学習の時間の実態は、高等学校においても同様であることが推測できる。したがって、自ら学び、自ら考え、主体的に行動する生徒の姿の完成に向けて、ますます総合的な学習の時間の充実が欠かせないのである。

総合的な学習の時間／国語／算数・数学の勉強は好きですか



総合的な学習の時間／国語／算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出る時に役に立つと思いますか

(※総合的な学習の時間の質問事項は「ふだんの生活や社会に出たときに役に立つと思いますか」)



- 「生きる力」を初めて提唱した、平成8年の『21世紀を展望した我が国の教育の在り方について』（中央教育審議会答申）で、「これからの変化の激しい社会において、いかなる場面でも他人と協調しつつ自律的に社会生活を送っていくために必要となる、人間としての実践的な力…それは、紙の上の知識でなく、生きていくための「知恵」とも言うべきものであり、我々の文化や社会についての知識を基礎にしつつ、社会生活において実際に生かされるものでなければならない。」とされているように、総合的な学習の時間は、その目指す方向性や創設の趣旨に立ち返ると、「学校で勉強していることが将来どう役に立つのか」、「自分の将来の生活とどう関わるのか」、学び方を獲得させ、さらに「生活における知」と「学校における知」、更には「科学における知」などを統合し、学習課題に現実感をもたせ、学ぶ喜びを育てる時間であると言えるだろう。そして、このような時間を戦略的に活用することを通じて、生徒たちが、今、現実社会で求められる力を身に付けていくことにつながるのである。
- 今回の学習指導要領の改訂でも、総合的な学習の時間の必要性・重要性が再確認され、教育課程上に明確に位置付けられることとなった。知識基盤社会やグローバル社会においては、課題発見・解決能力、論理的思考力、コミュニケーション能力などの実社会や実生活で活用できる能力が不可欠なものであることは言うまでもない。そのためにも総合的な学習の時間を探究的な学習とすることがポイントとなる。これまでも行われていた横断的・総合的な学習であることに加えて、探究的な学習とすることが、総合的な学習の時間の教育課程における重要な役割であり、戦略的な活用でもあると言えるのではないだろうか。総合的な学習の時間を探究的にすることが、求められる力を生徒一人一人に身に付けさせることにつながるのである。
- 日々成長する生徒たちを前に、これまでも重要とされてきた、今、求められる力を身に付ける授業を展開することができるのは、先生でしかない。本書では、全国の先生が総合的な学習の時間をより魅力的なものとするため、実際の指導に当たって参考となる事例などを示している。本書を活用することにより、現実社会で求められる力と学校で身に付けていく力が歩み寄り、生徒一人一人が幸せな人生を送ることができる一助となることを期待している。